

西彼保健所感染症情報

令和7年 第 34 週 令和7年8月18日 ～ 令和7年8月24日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第34週】百日咳 患者1名(10代・女性)

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加 ↑↑;2週連続増加 ↑↑↑;急増

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベル				警報レベル		注意 報レベル
	33 週	34 週	開始	終息			33 週	34 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	0.20	0.00	30	10	10	突発性発しん	0.33 ↑	0.33			
COVID-19	2.40	10.00 ↑				ヘルパンギーナ	0.00	0.33 ↑	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	36.80	89.00 ↑				流行性耳下腺炎	0.00	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	0.67	2.33 ↑				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.67 ↑↑	2.00 ↑↑	3	1		流行性角結膜炎	1.00	6.00 ↑↑↑	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.33 ↑	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	2.00	6.67 ↑	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.33 ↑	0.67 ↑	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	1.00	0.00			
手足口病	0.00	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.67	3.00 警報	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

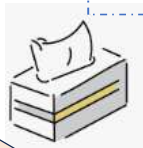
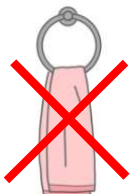
トピックス・季節情報

※第33週のデータは、定点医療機関のお盆休みの期間が含まれています

流行性角結膜炎が急増しています

流行性角結膜炎とは、アデノウイルス8型、19型、37型によっておこるウイルス性結膜炎で、潜伏期間は8から14日程度です。

急に発症し、結膜の浮腫や充血、眼瞼(がんけん(まぶた))浮腫が強く、流涙や眼脂(めやに)を伴います。結膜出血点の存在は特異性が高く、耳前リンパ節の腫脹と圧痛をきたす場合があります。発病から1～2週間して、黒目に小さい濁り(角膜混濁)がでてくることがあります。濁りがでると、まぶしさやかすみを感じたりします。通常、発病後2～3週間程度で治癒します。



放置せず直ぐにゴミ箱へ

流行性角結膜炎を起こすウイルスには消毒用エタノールの消毒効果は弱いので、予防としては日頃からタオル等の共有は避け、こまめに流水と石鹸による手洗いをおこなってください。



主として手を介した接触により感染します。感染経路は流涙、眼脂で汚染された手指やタオル類からの接触感染です。感染力は強く、職場、病院、家庭内などの人が濃密に接触する場所などでの流行的発生もみられます。アデノウイルスは種々の物理学的条件に抵抗性が強いので、その感染力は強いです。